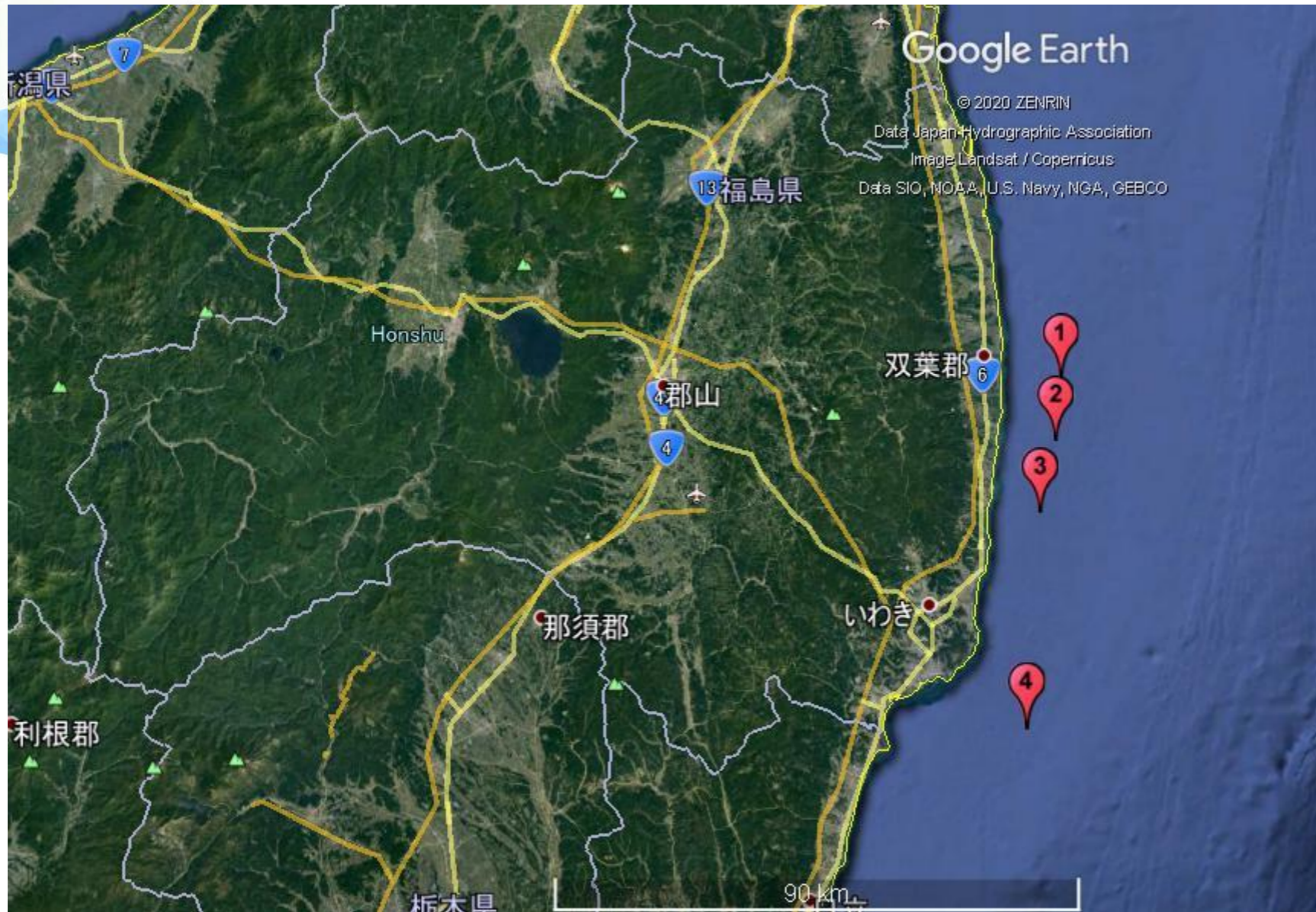


海水採取地点



福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域で試料の採取をしています。
※1.5km以内は東京電力の敷地となっています

海水採取地点



- ① 福島第一原発沖
- ② 福島第二原発沖
- ③ 双葉郡広野沖
- ④ いわき市小名浜沖

海水の測定方法について

海水のセシウムとストロンチウム90の測定には、採取した海水をろ紙でろ過した海水を試料として使います。しかし、海水をろ過することにより、細かい砂や肉眼では確認できない小さな生きものは、ろ紙に吸着され、測定する海水部分に含まれないようになってしまいます。そのため、それらの浮遊物(砂や生き物)に含まれる放射性物質の測定値を知ることはできません。

そこで、たらちね では、日常の中の海水とはどういう状態のものか? を考えました。その結果、細かい砂や生き物も含めた海の水 全体か海水なのではないかという結論に至りました。したがつて、たらちねでは、たらちね以外の分析機関で測定するのと同じく、ろ過した海水の測定を行うと同時に、海水の中に浮遊している 砂や生き物の測定も行なっています。

海水の測定結果と浮遊物(砂や生き物)の測定結果は、それぞれに項目を分けて設けています。浮遊物の測定値は、その地点の1Lの海水中に含まれる浮遊物の放射性物質の濃度となります。

第2回 2015年11月20日 【福島第一原子力発電所沖】

【海水 測定結果】	海水A		海水B		海水C	
北緯	37° 24'		37° 24'		37° 24'	
東経	141° 02'		141° 02'		141° 03'	
水温	16 °C		16 °C		15 °C	
水深	10 m		13 m		15 m	
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/L)	0.040±0.009	0.015	0.026±0.010	0.016	ND	0.016
自由水型トリチウム (Bq/L)	3.85±2.30	2.54	ND	2.33	ND	2.33
ストロンチウム90 (Bq/L)	欠測		欠測		欠測	

【魚 測定結果】	アイナメ		アイナメ		アイナメ		アカメバル		アカメバル		クロソイ		クロソイ		クロソイ		クロソイ	
重量	0.864 kg		0.869 kg		0.678 kg		0.377 kg		0.362 kg		0.562 kg		0.348 kg		0.152 kg		0.120 kg	
体長	—																	
北緯	37° 25'																	
東経	141° 10'				141° 09'				141° 10'									
水温	16.3 °C																	
水深	47 m						49 m											
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/kg生)	5.11±2.17	2.90	5.36±2.13	2.81	2.97±1.77	2.77	ND	2.96	ND	6.74	5.27±2.22	3.08	ND	7.06	16.33±13.75	1.58	17.40±13.93	2.00
セシウム134	ND	2.71	ND	2.53	ND	2.57	ND	2.75	ND	6.03	ND	2.85	ND	6.59	ND	1.78	ND	2.25
有機結合型トリチウム (Bq/kg乾)	ND	2.62	ND	2.51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ストロンチウム90 (Bq/kg乾)	ND	0.24	ND	0.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

※ 海水→自由水型トリチウムとは、環境中や生物体内に水の状態で存在するトリチウムのことです。

※ 魚→有機結合型トリチウムとは、環境中や生物体内の炭素・酸素などに結合して存在するトリチウムのことです。

※ 欠測→測定をしましたが、測定結果の信頼性が低いため、表示できませんでした